

2021年7月2日

第99回定時総代会議事録

富国生命保険相互会社

第 99 回定時総代会議事録

富国生命保険相互会社

2021年7月2日（金曜日）午前10時00分、東京都千代田区内幸町二丁目2番2号、富国生命本社28階会議室に於て、全取締役11名（米山好映、藤原利秀、櫻井祐記、林俊勝、渡部毅彦、北村康幸、吉村博人、柳正憲、黒田啓一、鳥居直之、砂本直樹）及び全監査役5名（吉澤啓、中尾真司、根津嘉澄、高橋恭平、大谷邦夫）が出席し、第99回定時総代会を開催した。

- ・総代数 120名（定数120名）
- ・出席総代数 120名（うち、委任状による出席91名）

1. 開会

午前10時00分、定款第20条の定めにより、代表取締役社長米山好映が議長となり、開会を宣した。

次に、議長は、本日の出席総代数が、委任状を含め、本総代会の議案の決議に必要な定足数を充足しており、適法に成立した旨を述べた。また、多くの総代が委任状出席となった理由は、新型コロナウイルス感染予防のために委任状による出席を依頼したことによる旨を述べた。

続いて、本日上程される議案は定款第21条に定める普通決議による事項であることを述べた。

最後に、本総代会においては、新型コロナウイルス感染予防として、開催時間の短縮を図るため報告事項の説明は簡潔にすること、また、事前質問の一部は紙上での回答とすることを述べた。

2. 議事の経過の要領及びその結果

1) 監査報告

議長は、まず、中尾常勤監査役に監査報告を求めた。同監査役は、監査の方法、内容及び結果は、監査役会の監査報告書謄本記載のとおりであること、また、本総代会に提出の全ての議案及び書類は、法令・定款に適合しており、指摘すべき事項はない旨を述べた。

2) 報告事項の報告

議長は、2020 年度事業報告の件、2020 年度貸借対照表、損益計算書及び基金等変動計算書報告の件、相互会社制度運営報告の件について、定時総代会議案に記載のとおりであることを述べ、スライド資料を用いて報告した。

3) 質疑

上記各報告事項の報告後、総代から事前に寄せられた以下の質問・意見に対し、議長及び議長からの指名を受けた担当役員より回答を行った。

○A I の技術が進化し、デジタル社会に急速に移行しつつあります。物事の判断の多くが機械的に行われようとする時代にあってお客さまへの提案はどのようなものになるのでしょうか。これからの Face to Face はどのように扱われるのでしょうか。

○ご契約者懇談会では『人生 100 年時代に対応した保険料が安い 100 歳までの長期の保障が欲しい』や『持病があっても入れる保険が欲しい』など、100 年時代に対応する豊かな商品群の開発・構築を求める声がありました。このような質問の回答は『引き続き検討』ということですが、スピード感を持って『何年までに』と期限があればより安心して契約を継続することが出来ると考えております。また、CMは費用対効果を鑑み実施しないとのことですが、富国生命の認知度がとても低い県もあると思います。認知度の低い県が調査出来るのであれば、その県に対しCMを打つのも効果があると考えます。人

口減少社会において新規契約者を増やす施策を確実にしていただくようお願いいたします。

○中期経営計画において『徹底した差別化でお客さまから最も評価される会社となる』とありますが、徹底した差別化とはどのような活動ですか。わたくしは、加入時から40年以上変わらぬ担当者より迅速な対応と的確なアドバイスを頂いてきましたが、これこそが富国生命の強みとっております。過度な活動で従業員や担当者のモチベーションを低下させるようなことのないよう、よろしく願いいたします。また、長期経営ビジョンでは『10年後お客さま満足度ナンバーワンの生保会社となる』とありますが、お客さま満足度の尺度は何で確認されますか。

○女性活躍の推進は、周知のとおり日本社会の取り組むべき主要課題の一つとなっております。こうした中で、2020年4月1日には改正女性活躍推進法が施行され、今般のコーポレート・ガバナンス・コードの改訂においても、女性の活躍を含めた多様な人材確保について現状と目標値の開示が求められるようになりました。御社では、女性活躍を含め、多様な人材の活用を目的に人事部内にダイバーシティ推進室を設けていると聞いておりますが、こうした情勢のもとで女性役員の登用をはじめとして、御社における女性活躍推進の現状がどのようになっているのか、そして今後の推進にあたって、どのように課題に対処されていく方針であるのかについて教示ください。

続いて、議長は、総代から寄せられた以下の質問に対しては、紙上での回答とする旨を述べた。

○お客さま満足度、従業員満足度の向上に資するため、今後、御社の社員の人材育成等について、具体的な取組策はありますか。

○SDGsの対応は、生命保険の社会的意義と一致する活動として取り組んでおられますが、継続的な取組みと2021年度の新たな取組みがあればご紹介

ください。

○各支社・営業所レベルでの地域に根差したSDGsの取組みを進めていただきますようお願いいたします。

この後、議長は、その他に総代から多数の期待やお褒めの言葉などを頂戴していることについて述べた。

さらに議長は、出席総代に対して質問・意見を求めたところ、以下の質問・意見が寄せられ、議長及び議長からの指名を受けた担当役員より回答を行った。

○富国生命の他にも多数の保険会社で契約しておりますが、他社のサービスや保険商品を比較すると差があると感じます。例えば、友人・知人等へ紹介した際のノベルティや自身が先進医療に該当する手術を受けた際の見舞金を比較すると差があるように感じたことがありました。お客さまアドバイザーが親身になってくださるので保険を継続してきましたが、満足度が上がるように他社との差を改善していただきたいと思います。

4) 決議事項の審議・採決

続いて、議長は、決議事項である第1号から第4号までの各議案について、それぞれ説明し採決を行う方法で審議を進めたい旨を述べ、出席総代に異議を問うたが、満場異議はなかった。

第1号議案 2020年度剰余金処分案承認の件

議長は、参考資料を用い、2020年度剰余金処分案、社員配当比率などについて説明した。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

第2号議案 社員配当準備金分配の件

議長は、参考資料を用い、配当のあらまし、社員配当金例、社員配当準備金分配について説明した。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

第3号議案 評議員9名選任の件

議長は、現評議員9名全員が本総代会終結の時をもって任期満了となることにともない、評議員9名を選任したい旨を述べた。

議長は、評議員として、泉谷直木、井上和幸、北村雅良、小林哲也、中林真理子、西成活裕、久塚智明、前野隆司、宮川努の9名を選任したい旨、及びその推薦理由を述べた。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案どおり承認可決された。

第4号議案 取締役11名選任の件

議長は、現取締役11名全員が本総代会終結の時をもって任期満了となることにともない、米山好映、藤原利秀、櫻井祐記、林俊勝、渡部毅彦、北村康幸、吉村博人、柳正憲、黒田啓一、鳥居直之、砂本直樹の11名の推薦理由に触れたうえで、取締役として選任したい旨を述べた。なお、吉村博人及び柳正憲の2名については社外取締役の候補者である旨を述べた。

その後、議長は、本議案について異議を問い、採決したところ、満場異議なく原案通り承認可決された。選任された11名は全員就任を承諾した。

3. 閉会

議長は、以上をもって本定時総代会の議案全部を議了した旨を述べ、午前11時9分に、議長は第99回定時総代会の閉会を宣した。

以上の議事の経過及び決議を明確にするため、この議事録を作成した。

2021年7月2日

富国生命保険相互会社

第99回定時総代会

議事録の作成に係る職務を行った取締役の氏名

代表取締役社長 米 山 好 映

以上